

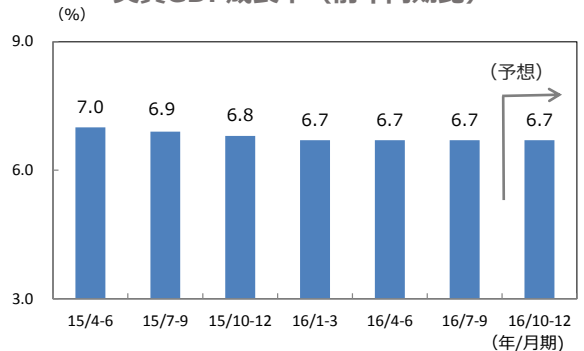
今日のトピック 最近の指標から見る中国経済（2016年10月）

GDP成長率は6.7%、安定成長が続く

ポイント1 実質GDPは6.7%
3期連続の横ばい

■中国国家统计局が19日発表した16年7-9月期の国内総生産（GDP）は、物価変動を除く実質で前年同期比+6.7%でした。習近平指導部の16年の目標である「6.5～7.0%」の範囲内であり、市場予想（ブルームバーグ）と同じでした。7-9月期は長江の洪水被害の影響が懸念されましたが、公共投資が下支えしたと見られます。GDP成長率は3期連続で横ばいとなりました。10-12月期の成長率も横ばいが見込まれます。

実質GDP成長率（前年同期比）

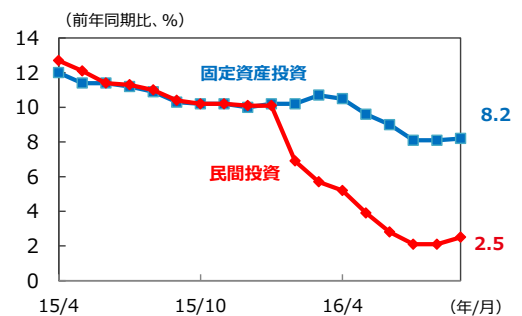


(注) データは2015年4-6月期～2016年10-12月期。
2016年10-12月期は三井住友アセットマネジメントの予想。
(出所) 中国国家统计局のデータを基に三井住友アセットマネジメント作成

ポイント2 固定資産投資の伸び拡大
民間投資の伸びが加速

■19日発表の1～9月の固定資産投資は前年同期比+8.2%と、1～8月（同+8.1%）から伸び率が小幅拡大しました。固定資産投資全体の6割を占める民間投資の伸びが同+2.5%と、1～8月（同+2.1%）から加速したためです。民間投資は今年に入って急減速しましたが、ここに来て底入れしつつあります。

固定資産投資と民間投資



(注) データは2015年4月～2016年9月。年初来累計の前年比。
1月、2月は1-2月平均の前年同期比。数字は2016年9月。
(出所) Bloomberg L.P.のデータを基に三井住友アセットマネジメント作成

今後の展開 **中国政府の政策運営により景気は安定的な推移へ**

■9月の生産者物価指数は前年同月比0.1%上昇しました。前年同月の水準を上回ったのは2012年2月以来4年7カ月ぶりで、中国のデフレ圧力は弱まりつつあります。最近の鉄鋼や石炭の値上がりが主な理由ですが、これは、インフラ投資による素材需要の増加によって、需給ギャップが縮小に向かっていることが背景です。今後も中国政府は財政政策を中心にした景気下支えを継続すると見られます。こうした状況下、中国景気は安定的に推移することが期待されます。

ここもチェック! 2016年10月18日 安値を切り下げた「人民元」(中国)
2016年 9月30日 明日から「国慶節」(中国)

■当資料は、情報提供を目的として、三井住友アセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。